

園長かいじゅうからみなさんへ

【たんぼ組のみなさんへ】

この4月、みなさんはたくさん泣き、笑い、走り、跳ねました。毎日の着替えは戦争のようでした。收拾のつかないクラスの集まりに、先生たちは戸惑いすら覚えたものです。この3月まで、言えば通じる人たちと過ごしてきた大人でした。それがみなさんには通じません。今まで「ちゃん」と呼ばれていたみなさんです。「みんな」と声を掛けられて、それが自分のこととして聞こえるようになるには、みなさんに今しばらくの時間を上げねばなりません。

たんぼ組のみなさんの心の中を思うとき、なべの中でポップコーンがはじけている様子を思い起こします。それは、それは全く新しい世界に放り込まれたみなさんが、あらんかぎりに自分を出し、また精一杯戦っている姿です。とても可愛い姿ですし、それ以上にその一生懸命さに心が打たれる思いがします。今みなさんがしている一生懸命な姿が、きっとみなさんを大きくします。大きくなっていくみなさんを楽しみにしています。

【ばら組のみなさんへ】

毎年ばら組は新しい友だちを迎えます。今年も元気で活発な新しい仲間を迎えました。みなさんがお互いの良いところを分け、もらい合ってくれることを期待します。これまでそれぞれ違った世界で生きてきた人たちです。身に付けてきたものはみな違います。今までのことが通用しにくくなります。お互いにアレツと思うことや、ナンデ？と思うことがあるでしょう。違っているものに出会うのは面倒なものです。でもそれが出会うということなのです。そこから分け合い、もらい合いが始まります。

たんぼ組とちきゅう組にはさまれたみなさんです。だから自分の居場所が見えにくくなることもあります。4月になって2階の先生たちの部屋に定期便のようにやってくる人もいました。それも居場所探しだったのでしょうか。でも居場所探しにここまで来てくれたのは、「幼稚園中どこでも自分の居場所」とわかってくれたからなのだと思います。それはうれしいことです。そうです、みなさんは幼稚園のどこでも、誰とでも楽しんでいいのです。

【ちきゅう組のみなさんへ】

いよいよ幼稚園で一番大きい組になったちきゅう組です。大きい組の1年はみなさんを飛躍的に変えることでしょう。大きい組にならなければ出会えず、感じられず、味わえないことが一杯あるからです。たんぼ組の子たちを助けてあげようと張り切りました。でもうまくいかないことも多かった。慰めても泣き止まない。避難用スロープで遊ばないようにと教えてあげたのに逆襲される。弟に泣かれて自分がしたいことができない。弟の世話をしようとしたのに、弟は迷惑がって行ってしまふ。こんなはずではなかった。でもそれはみなさんの、大きい組でなければできない勉強の始まりなのです。

そら組の人たちがみなさんにたくさんの良いことをしてくれたように、ちきゅう組もみんなから頼られる大きい組に絶対なれます。みなさんの今の張り切った一生懸命の思いは、どこかで必ず実ります。今日に見える成果がなくても、思い続けたらどこかでそれが生きるときが来るのです。大きい組らしい立派なちきゅう組になっていくみなさんの1年間が楽しみです。